

# 平成25年度 病虫害発生予察情報

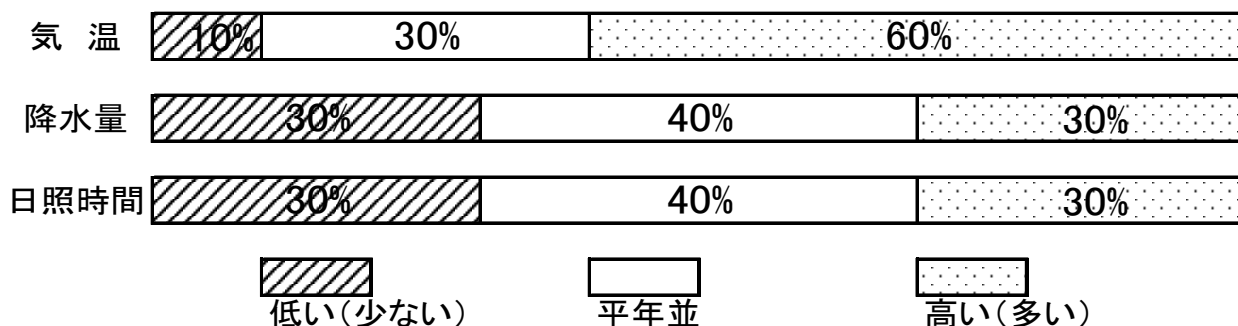
## 発生予報第8号（10月）

平成25年 9月30日  
島 根 県

### 予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並
		菌核病	平年並
	アブラナ科野菜	コナガ	少ない
		ハスモンヨトウ	やや少ない

中国地方1か月予報(9月28日～10月27日・広島地方气象台9月27日発表)  
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



### A. 果樹

#### 1) カキ

##### (1) カメムシ類

##### 予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

##### 予報の根拠

- ① 9月4半旬から9月5半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は100頭（平年53.3頭）とやや多い。
- ② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は1.2%（平年5.6%）とやや少ない。
- ③ 10月の気象は、本種の発生を抑制する要因となる。

### B. 野菜

#### 1) キャベツ

##### (1) 黒腐病

##### 予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

##### 予報の根拠

- ① 9月25日現在、巡回調査圃場において発生は確認されておらず（平年発生圃場率4.3%）、全般の発生量はほぼ平年並みである。
- ② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生は少ない～やや少ないと予想されている。
- ③ 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月25日現在、巡回調査圃場において発生圃場率3.3%（平年発生圃場率0.8%）、全般の発生量はほぼ平年並みである。

② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

① 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生圃場率は7.7%（平年27.9%）寄生株率は0.7%（平年6.3%）で発生量は少ない。

② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

① フェロモントラップによる7月初めから現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の140.4%、益田市で平年の127.1%とやや多い。

② 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は7.7%（平年46.9%）、寄生株率は0.7%（平年8.0%）で発生量は少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>